

2022年 海と日本PROJECT サポートプログラム

～海と日本プロジェクト in 浜名湖～

見て知って感じて 2022 2ndシーズン

はまなこSHOW!



## 事業終了報告書

## 1. 事業目的

「海と日本プロジェクト in 浜名湖」実行委員会は、日本財団「海と日本プロジェクト」が推進する5つのアクション『海（浜名湖）を学ぼう、海（浜名湖）をキレイにしよう、海（浜名湖）を味わおう、海（浜名湖）を体験しよう、海（浜名湖）を表現しよう』をコンセプトに事業を実施。

なお今回2022年度の事業では、イベント要素の高い中で多くの人を集めたこれまでの手法から、アフターコロナ・ウィズコロナの中でも多くの人々が安心して事業に参加できるよう、新たな視点も加え、さらに事業期間を延ばし複数のプログラムを繋ぎながら本事業及び日本財団「海と日本プロジェクト」の成果を生み出せるよう取り組んだ。

## 2. 事業概要

- (1) タイトル：～海と日本プロジェクト～ 見て 知って 感じて はまなこ show2022 2nd シーズン
- (2) 実施日時：2022年7月10日～11月12日 ※荒天により活動日が延期となったため当初より期間が延長
- (3) 主催：海と日本プロジェクト in 浜名湖実行委員会
- (4) 後援：浜松市、浜松市教育委員会、湖西市、湖西市教育委員会
- (5) 参加者数：実績 1,976 人/目標 2,000 人以上

## 3. 事業実施体制

### ① 実行委員会

	氏名	所属団体 役職
実行委員長	山内 貴	浜名湖競艇企業団 宣伝課課長
副実行委員長	中野 貴裕	日本モーターボート競走会浜名湖支部 管理課課長
実行委員	渥美 博之	新居町商工会 事務局長
〃	柴田 和利	湖西市商工会 事務局長
〃	吉田 新吾	浜名商工会 事務局長
〃	松山智次郎	湖西市文化観光課 課長
〃	岩崎 英浩	浜松市産業振興課 課長
〃	北嶋 秀明	浜松市観光・シティプロモーション課 課長
〃	竹内 靖	(公財)浜松・浜名湖ツーリズム・ビューロー理事・事業本部長
	長田尚史	湖西・新居観光協会 事務局長

### ② 事務局

	氏名	所属団体 役職
事務局長	白井 幸倫	浜名湖競艇企業団 宣伝課 職員
事務局員	北野 勝也	〃
〃	宮崎 禎之	〃
〃	鈴木 靖将	〃
〃	田中 麻紀子	〃
〃	田口 和弥	〃

## 4. 実施プログラム

これまで重視してきた「市民協働」、「地域協働」、「海や浜名湖を楽しむ」という視点に「見て・知って・感じる」という視点も加え、5つのアクションをより意識したプログラムを実施。

### ① 浜名湖の伝統漁体験（地引網漁）

遠州灘に面した白須賀地区では、昭和20年代ごろまで「地引網漁」がさかんに行われ、人々は半農半漁の暮らしをしていた。最盛期には50～80人の地引網団体が10網存在。現在も活動を続ける「白須賀地引網保存会」の協力を得て体験会を実施。

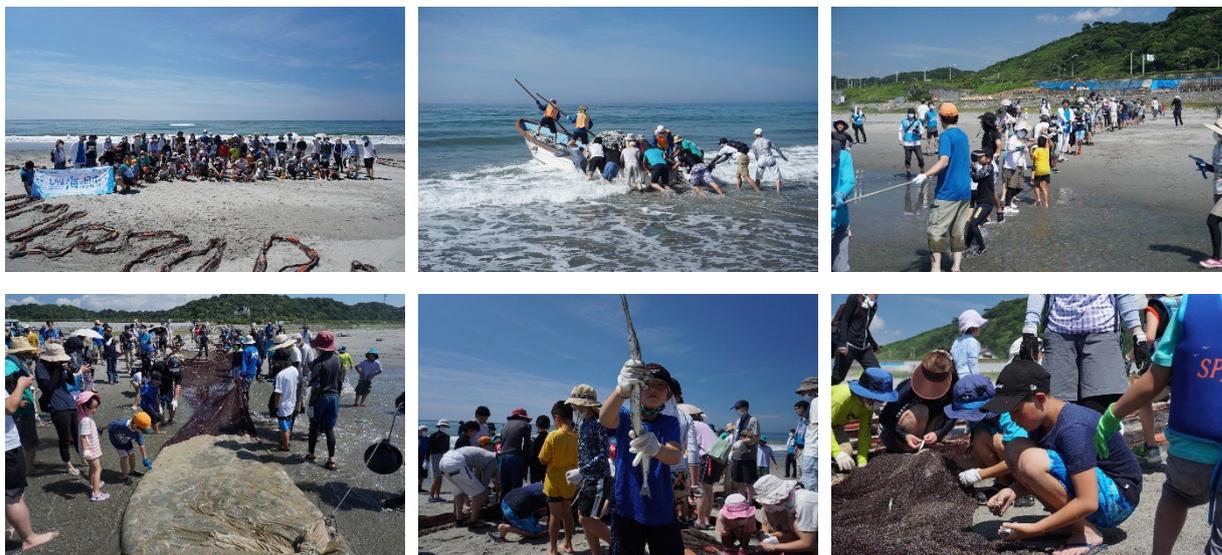
ア 実施日時 令和4年7月24日（日）9時～12時頃

イ 実施場所 白須賀海岸

ウ 参加人数 89名（25組）

エ 内容 ・地元観光団体が発行した「海の湖教科書」で海や浜名湖の生物について学習  
・学習後、地引網漁を体験。獲った魚は、参加者に配布。

オ 実施状況



カ 参加者の声

#### 【子ども】

- 海にいっぱいの魚がいて驚きました
- 魚はこうやってとっていたんだと初めて知ってよかった
- ぼくは、今日、縄を引いたときに千切れて「うわ！！」と言って転びました。すごい痛かったけど、毎回やっている人はこれ以上に痛い目に合っているんだなと思いました。
- 昔の人は全て手でやっていたと思うと凄と思った

#### 【保護者】

- 魚を取るのは大変、残さず大切に頂きたい
- あまり乗り気でなかった子供が楽しんでいました
- 子供たちがとても生き生きとしている姿が印象的だった

- 地引網をやってみたくて参加しました。とても楽しかったです。やり方の指示がもう少し分かりやすいと良かったです。引網の前後は全体が分かる人が付いた方がいい。
- 子供がびびりながらも魚を触って色々感じたと思う。魚を食べる⇒スーパーだけではないんだと教えられて良かった
- 子どもと一緒に参加したつもりが、子供は夫にまかせて一人で楽しんでいました。

キ 協力者 白須賀地引網保存会

## ② 海洋ごみ拾い活動（浜松市内2か所、湖西市内2か所）

マリンスポーツや釣りなど多様な楽しみ方がある浜名湖（遠州灘）が、これからも多くの人が訪れる場所として魅力と景観を維持できるよう、日頃より取り組んでいる団体などとも連携して海洋ゴミ拾いを実施。各会場の特色を出して参加動機も与えた。

### [浜松市会場:浜松市三ヶ日町]

ア 実施日時 令和4年7月31日（日）9時～11時

イ 実施場所 浜松市北区三ヶ日町大崎周辺海岸

ウ 参加人数 40名

エ 内容 ・毎月定期的に活動している団体と連携し、海岸付近の漂着ゴミを拾った  
 ・この地域に住む人や自然を守るために行う海洋ゴミ拾い活動の重要性を伝えた説明

オ 実施状況



カ 参加者の声

#### 【子ども】

- プラスチックなど色々なゴミがあってビックリした
- 思ったより沢山ゴミが落ちている

#### 【保護者】

- ビニール、プラゴミが多い、ビックリした
- 飲食のゴミが多かったので、バーベキューやキャンプに行く際は気を付けようと思った
- 人間の手によってゴミがかなりあった事にビックリしました

- ▶ 貝がらに紛れて陶器が捨てられている、まとまったゴミは人目につかない所に落ちている
- ▶ ゴミが良く目につきます。子供たちがゴミ拾いたいと言うのですが戸惑っていました。これからは拾っていききたいです。

キ 協力者 BLUE LAKE Project、T-flow. Water Side Community.

**[浜松市会場:浜松市細江町]**

ア 実施日時 令和4年11月12日(土)9時~11時

イ 実施場所 浜松市北区細江町都田川河川敷

ウ 参加人数 34名

エ 内容 ・浜名湖観光圏の観光事業を推進する協議会のワーキンググループ及び企業等(静岡銀行、ホテルエクシブ浜松、日本航空 など)と連携した海洋ゴミ拾い活動を合同実施

オ 実施状況



カ 協力者 浜名湖観光圏整備推進協議会

**[湖西市会場:湖西市新居町]**

ア. 実施日時 令和4年9月10日(土)9時~11時頃

イ. 実施場所 新居弁天海水浴場

ウ. 参加人数 34名

エ. 内容 ・毎月定期的に活動している団体と連携し、海水浴場付近の漂着ゴミを拾った  
 ・団体から海洋ゴミに関する説明も行い参加者に海洋ゴミの実情や影響を周知した

オ. 実施状況



## カ. 参加者の声

### 【子ども】

- ▶ 少し歩いただけでゴミがあって驚いた
- ▶ ゴミはそう簡単に減らないと思いました
- ▶ タバコと発砲スチロールが多かった、クラゲの名前を覚えて良かった
- ▶ 海にゴミを捨ててはいけないと改めて思った
- ▶ ゴミを捨てる人がこんな悪い人があるんだと思った
- ▶ ペットボトルやたばこの吸い殻が沢山落ちていた、何グラムのゴミが捨てたか計ってみたかった

### 【保護者（大人）】

- ▶ 海が綺麗になりました、ありがとうございます
- ▶ 海に流れたプラスチックを魚が食べて、それを人が食べる可能性があると感じました
- ▶ 海を守るためにみんなが気を付けなければ
- ▶ 親子で参加出来たのでこれを機会に同様のイベントがあれば参加したいと思った
- ▶ 思ったよりゴミが多くてびっくり、ゴミは色々な場所から流れてくるということが分かった

## キ. 協力者 NPO 法人 DIG tag、湖西市・新居観光協会

### [湖西市会場：湖西市白須賀]

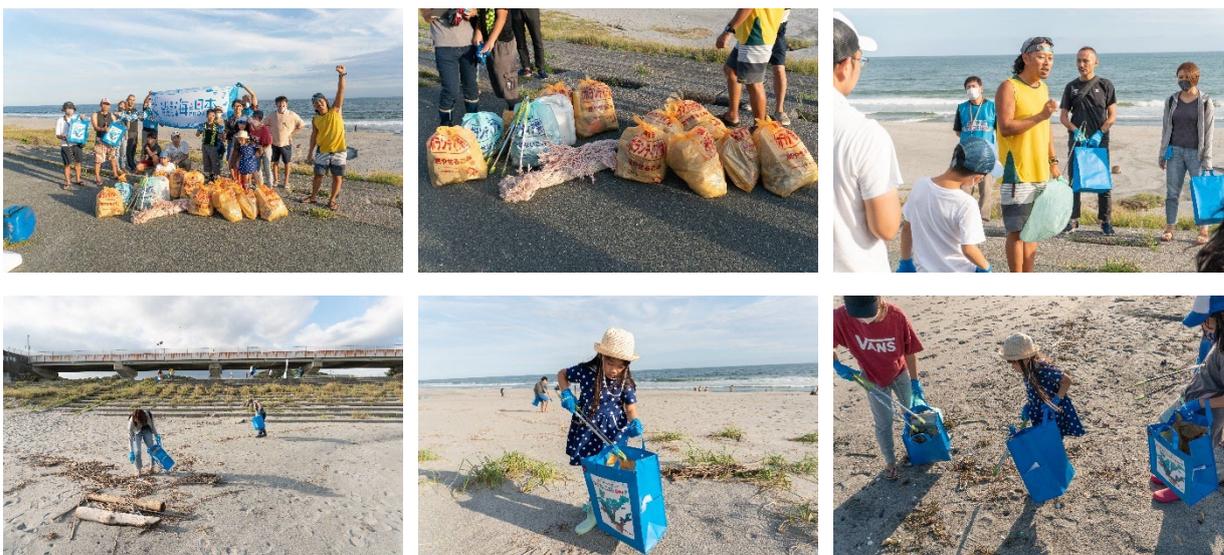
ア. 実施日時 令和4年9月10日（土）16時～17時半頃

イ. 実施場所 白須賀海岸

ウ. 参加人数 20名

エ. 内容 ・毎月定期的に活動している団体と連携し、海水浴場付近の漂着ゴミを拾った  
・団体から海洋ゴミに関する説明も行い参加者に海洋ゴミの実情や影響を周知した

## オ. 実施状況



## カ. 参加者の声

### 【子ども】

- ▶ 良く見ると沢山のゴミがあってみつけるのが楽しかったです

- ▶ タバコの吸い殻が多い、小さなプラスチックごみは拾うのが大変

#### 【保護者（大人）】

- ▶ 海が好きで良く来ています。ゴミがずっと気になっていましたが、なかなか個人では拾う等の活動が出来なかったので、イベントを開催して下さって感謝です

キ. 協力者 NPO 法人 DIG tag、湖西市・新居観光協会

### ③ はじめての浜名湖釣り体験

「海の湖」とも呼ばれる浜名湖の特徴として外海との出入り口がある事で様々な魚がいて、釣り場も充実。他の地域からも多くの方が訪れるほど魅力のある釣りのスポット。その魅力を触れていない（知らない）地元の子も達や、また他の地域の子も達にも触れる機会を作った。

ア. 実施日時 令和4年9月17日（土）8時30分～12時00分

イ. 実施場所 新居弁天海釣り公園

ウ. 参加人数 17名

エ. 内容 ・地元観光団体（湖西市・新居観光協会）と連携し初心者対象の釣り教室を実施  
 ・釣り実施後、付近の海水浴場のビーチクリーンも実施

オ. 実施状況



カ. 参加者の声

#### 【子ども】

- ▶ 次に来たときは、もっと魚を釣りたい
- ▶ 釣りは釣れたら楽しいけれど、釣れなかったら面白くない
- ▶ 家に帰って魚をフライにして食べたいです
- ▶ 海に行ったときにゴミがあったら片付けたいと思います

#### 【保護者（大人）】

- ▶ おもしろかったです。ありがとうございます
- ▶ 釣りは難しいと思いました。釣りは面白かったです
- ▶ 浜名湖の自然と遊べる機会をもっと知りたい。情報が欲しい

▶ よく海に来るのでこまめにビーチクリーンをしたい

キ. 協力者 湖西市・新居観光協会

#### ④ 浜名湖を彩ろう！ぬりえチャレンジ

共通のぬり絵用紙にお気に入りの色彩で浜名湖を彩るぬり絵チャレンジ。専用受付までご持参いただいたお子様には参加賞として「お菓子つめあわせ」をプレゼント。応募作品は活動展にて掲示した。

ア. 募集期間 令和4年7月下旬～8月31日（水）

イ. 応募数 204 作品

ウ. 展示状況



#### ⑤ 浜名湖のお気に入りスポットを教えて！フォトコンテスト

“あなたが知っている浜名湖のお気に入りスポットを教えて”というテーマで浜名湖のオススメスポットやシーンをスマホで撮って応募していただくフォトコンテストを実施。入賞作品は活動展内で掲示し、入賞者には地元産品などをプレゼント。

ア. 募集期間 令和4年7月下旬～8月31日（水）

イ. 応募数 108 作品

ウ. 展示状況



#### ⑥ 浜名湖&遠州灘の恵みレシピコンテスト

浜名湖は、海産物はもちろん農産物も豊かである。前回も実施した浜名湖や遠州灘に関する食材を用いたレシピコンテストを実施。入賞作品は活動展内で掲示し、入賞者には地元産品などをプレゼント。

ア. 募集期間 令和4年7月下旬～8月31日（水）

イ. 応募数 35 作品

ウ. 展示状況



### ⑦ はまなこマリンアトラクション体験会

従来取り組んできたイベント要素を重視した本プログラムの実施方法等を見直し再実施。安全安心に楽しめるポートレース場の水面を活用し様々なマリンアトラクション等の体験を実施。

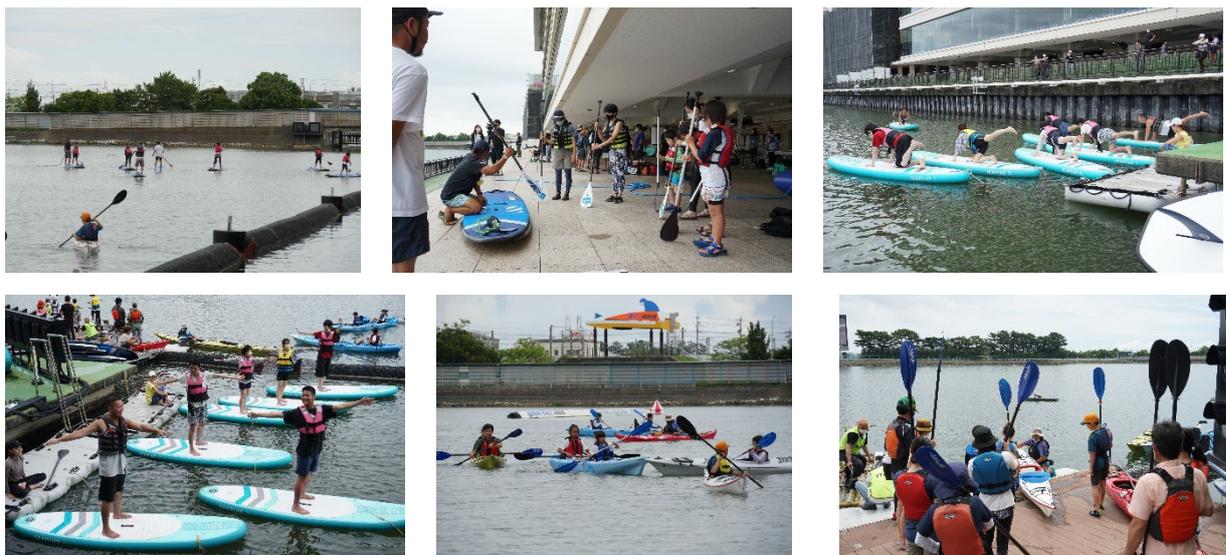
ア. 実施日時 令和4年7月10日(日) 10時00分～16時00分

イ. 実施場所 ポートレース浜名湖

ウ. 参加人数 約800名

- エ. 内容
- ・ SUP、SUP ヨガ、シーカヤックなどの浜名湖で体験できるマリンスポーツ体験
  - ・ 地元で活動するアイドルなどによるステージショー
  - ・ 浜名湖周辺のグルメが味わえるグルメ販売
  - ・ 浜名湖周辺で活動している方によるワークショップは物販 など

オ. 実施状況





## カ. 参加者の声

### 【子ども・中高生】

- イベントに参加できてよかった
- 水が重く、漕ぐのが大変だった
- SUPで色々工夫したり考えたり経験がないと上手くできないと思った。水を深くかくのが難しかった
- 弟と一緒にカヤックに乗って楽しかった
- 工作が好きなので、貝がらのワークショップは楽しかった
- 色々なヨガを学べて楽しかった
- 初めてのことばかりで楽しかった

### 【保護者（大人）】

- 普段やらないことが出来て楽しかった
- コロナ明けで初めて楽しいイベントでした、毎週やってほしい
- これを機にSUPヨガなど親子でできる体験が増えた
- 浜名湖をより身近に感じられた
- とにかくとても楽しかったー！
- カヤックでもっと遠くまで行きたい
- 天気が少し残念でしたが、インストラクターの方々が丁寧で優しく良い体験になりました

- ▶ 天竜ヒノキの箱が良い香りで、フォトフレーム作りも親子で楽しめた
- ▶ 楽しさとともに危険と対処を学べた
- ▶ もう少し飲食店が充実すると1日楽しい
- ▶ 場所が競艇場内なので海という感じが少なかった

## ⑧ 海と日本プロジェクト in 浜名湖活動紹介ブース

2022年度事業の各プログラム、2020年度・2021年度で制作した広報動画など当実行委員会の活動を多くの人に知ってもらうため、不特定多数が常に営業日に来場するボートレース浜名湖内にブースを設置し長期間展示。

ア. 実施日時 令和4年10月8日（土）～25日（火）10時00分～16時00分

イ. 実施場所 ボートレース浜名湖

ウ. 参加人数 約600名

エ. 実施状況



## 5. 今年度事業の総括

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年度と2021年度は当初申請した事業を中止し、事業内容の変更を強いられた過去2年間の中で迎えた今年度。一度に多くの人を集めたこれまでのイベント的的事业から、アフターコロナ・ウィズコロナの中でも密にならず多くの人々が安心して事業に参加できるよう、新たな視点も加え、事業期間を拡大しプログラムを複数回に分け繋ぎながら、本事業及び日本財団「海と日本プロジェクト」の成果を生み出せるよう取り組む事が出来ました。

特に、下記のとおり掲げた単年度の目標に対しては、

<単年度（今回）>

- ・ 新たな要素も加えた今回の事業に、過去の協力者だけでなく、新たな協力者を加えながら進化した「海と日本プロジェクト in 浜名湖」で事業を作り上げる
- ・ 本事業の協力者が、事業実施後も各々発展し、“地域貢献”や“地域と共生”を継続していく
- ・ アフターコロナ、ウィズコロナの中で安心安全を確保しながら事業を遂行させる

は、それぞれ達成できたと思われまます。

2023年度も今年度の実績を更に繋げるように事業展開をしてまいります。